

(参考)

2021 年度栄養ケア・マネジメント事例集作成要領

公益社団法人 日本栄養士会

1. 趣旨

障害児・者施設の利用者は、主たる障害の種類や重症度も多岐にわたり、個々人に対する栄養・食の支援内容は、複雑で個別性が高くさらには重度化・高齢化による摂食・嚥下障害等は生命に関わる大変重要な問題であり、栄養ケア・マネジメントの必要性かつ緊急性は増しています。

このことから本会では、過去2年間の調査（施設調査及び個別調査）において、障害児・者における栄養の課題や食環境整備の必要性を明らかにするとともに、阻害となる因子を抽出し、栄養ケア・マネジメントの体制を整えるための提言をしてまいりました。

今年度についても引き続き、栄養ケア・マネジメントを実施することにより、入所者の栄養・健康状態がどのように改善していくのかを検証し、入所施設における栄養ケア・マネジメントを効果的に実施するための事例集を作成し、エビデンスとして示していきたいと考えております。

2. 募集数

協力施設 10 施設（各 1～3 事例）合計 20～25 事例

（対象者別での提出にご協力ください：身体障害者（肢体不自由、視覚障害、聴覚・言語、内部障害）、知的障害者、障害児、精神障害者、難病等）

3. 提出先・提出期限・提出方法

公益社団法人日本栄養士会福祉職域あてに、**2021年12月10日（金）**までに E-mail で提出します。

〒105-0004 港区新橋 5-13-5 新橋 MCV ビル 6 階

公益社団法人日本栄養士会福祉職域担当行

TEL：03-5425-6555

E-mail：fukushi-jigyobu@dietitian.or.jp

4. 原稿作成

所定の様式を使用し、別記を参考に原稿を作成してください。

<別記>

1. 様式は添付の「事例報告様式」をご利用ください。
2. 様式はワード形式（事例報告様式.doc）で作成してあります。
事例入力後、ファイル名を「事例様式（施設名）.doc」としてください。
例えば「事例報告様式（障害者支援施設〇〇園）.doc」として保存してください。
※ 必ずワード形式にて作成・保存してください。
（PDFファイルに変換しないでください。）
3. 「事例報告様式（記入例）.pdf」を参考に、項目に添った内容で記入してください。また、各項目に空欄がないよう、記入をお願いします。
提出された内容に不備がある場合は、掲載できないこともありますので、予めご了承ください。
4. 事例様式の変更、項目の削除・追加等を行わないようお願いします。
今回、日本栄養士会の認定管理栄養士申請時の様式を使用しています。記入方法について不明な点をご相談ください。
5. 文字ポイント（字体）は、10.5（MS 明朝体）をお願いします。
6. 提出された事例の内容等で不明な点については、文末の様式に記載されている問い合わせ先に確認させていただくことがあります。
なお、記入内容の体裁については、一部修正する場合があります。
7. 提出事例は「栄養ケア・マネジメント事例集（仮称）」としてとりまとめ、（公社）日本栄養士会のホームページに掲載させていただき、広く会員に情報提供する予定です。

事例報告様式（記載説明）

症例（事例）報告の記載例

○事例（症例）報告に記載する項目は次の7項目です。

1. 患者（対象者）情報

プロフィール（年齢、性別、職業）、傷病名（病歴）、身体状況（身長、体重など）、生活背景
個人が特定できないように配慮して記載する。

2. 介入までの経過

対象者（患者）への介入（紹介）までの経過を経時的に記載する。

3. 栄養スクリーニング

スクリーニングツールの記載、スクリーニング結果の提示または紹介（多職種からの紹介）
理由

4. 栄養アセスメント

栄養アセスメントは、FH「食物/栄養関連の履歴」、AD「身体計測」、BD「生化学データ」、PD
「栄養に焦点をあてた身体所見」、CH「既往歴」の5つの項目から問題点を抽出して実施し、
栄養に関する問題を正しく導き出す。

5. 栄養診断

栄養診断は、NI「摂取量」、NC「臨床栄養」、NB「行動と生活環境」の3つの項目からなる70種類
の国際標準化された栄養診断から適する栄養診断コードNoと用語を選択する。

※栄養診断P（Problem or Nutrition Diagnosis Label）は、E（Etiology：原因や要因）とS
（Sign/Symptoms：栄養診断を決定すべき栄養アセスメント上のデータ）により決定する。

初回指導時に、栄養診断の根拠に用いたアセスメントと栄養診断・計画をSOAPで記載する。

栄養診断：NI エネルギー摂取量過剰・・・

S：（主観的データ）

O：（客観的データ）

A： 栄養アセスメント+栄養診断（PES）での記入

P： Mx)

Rx)

Ex)

6. 栄養介入とモニタリング・再評価（臨床経過）

栄養介入は、栄養診断とその病因に基づいてND「食物・栄養提供」、E「栄養教育」、C「栄養カウンセリング」、RC「栄養ケアの調整」の4つの項目から対象者のニーズに合わせて、栄養摂取、栄養に関連した知識・行動・環境状態などの栄養問題を解決（改善）する。

- 1) 目標栄養量
- 2) 栄養介入計画（栄養アセスメントのFH、AD、BD、PDの項目の中から設定する。）
- 3) 栄養介入の経過

7. 栄養ケアプロセスの総合的評価

※記載上の注意点

- ・ A4用紙3枚（片面印刷） にまとめる。
- ・ 本文の基本フォントは、MS 明朝体（英数字記号は半角を使用し、MS 明朝体または Times New Roman）、文字の大きさは、10.5 ポイントとする。
- ・ 句読点は、日本語は句読点（、） マル（。）、英文は、コンマ（,） とピリオド（.）を使用する。
- ・ 検査値や計測値には、必ず単位を入れる。また、記載する場合は、数字と単位の間（単位同士の間）に半角スペースを入れる。
- ・ データは、個人や施設名が特定できないように配慮して記載する。

事例報告

1. <対象者 (患者) 情報>

2. <介入に至るまでの経過 (栄養管理開始までの経過) >

3. <栄養スクリーニングの状況 (多職種からの紹介状況も含める) >

事例報告2 (様式)

4. <アセスメント>と5. <栄養診断>

栄養診断	
S	
O	
A	
	栄養診断の根拠 (PES)
P	M x) R x) E x)

S : Subjective data (主観的データ), O : Objective data (客観的データ), A : Assessment (評価), P : Plan (計画)

Mx : Monitoring plan (モニタリング計画), Rx : therapeutic plan (栄養治療計画), Ex : educational plan (栄養教育計画)

事例報告 3 (様式)

6. <栄養介入>

7. <栄養ケアプロセスの総合的評価>

事例報告 No. 4 (様式)

【提出者情報】

所属栄養士会 ○○○○ 都・道・府・県 _____

会員番号 △△-△△△△ _____

施設名 □○△□○△□○△ _____

提出者氏名 ○○○○○○ _____

連絡先 TEL () _____

E-mail _____ @ _____

ホームページへの掲載 (可・不可)